

事業番号	02 07 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	松本空港利活用・国際化推進室
			実施期間	S40～	E-mail	airport@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加					
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成					



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】
	<p>○平成30年度の信州まつもと空港発着定期便（福岡線・札幌線）の利用者数は、平成29年度とほぼ同数の122,912人となった。</p> <p>○令和元年度上半期（H31.4～R1.9）の定期便利用者数は、前年同期間に比べ、福岡線は781人増の40,795人、札幌（新千歳）線は1,035人増の24,223人と、いずれも増加している。</p> <p>○8月の1ヵ月間運航している大阪線の利用者は3,831人となり、前年度に比べ60人増加、利用率も80%を超えた。</p> <p>○札幌（丘珠）線は、平成30年度に目標とする利用率65%を達成したこと等から、令和元年度は運航期間が延長（24日間→75日間）され、利用率も65.7%（前年度より0.6ポイント増）となった。</p> <p>○令和元年10月27日より新たに神戸線が就航した。</p>
	【目指す姿】
	<p>○信州まつもと空港にかかる広報宣伝と利用者・旅行会社等への支援を関係機関と連携して取り組み、信州まつもと空港発着の国内路線の拡充や国際プログラムチャーター便の誘致、定期便を利用した国際乗継便の利用促進を目指す。</p> <p>○空港施設の諸機能が健全に発揮されるよう、日常点検等を実施するとともに、施設の修繕や設備の更新、空港周辺の環境整備など地元地区の理解と協力を得ながら計画的に行うことで、安全、安心な空港を目指す。</p>
	【実施内容】
	○定期便の利用拡大、国際チャーター便の誘致・国際乗継便の利用促進、各種保守点検、施設修繕 等

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業 コスト	R1年度		R2年度	
								前年度繰越	R1年度	R2年度	
1	信州まつもと空港利用者数	138千人	157千人	↑ 76千人	↓	175千人		未達成	前年度繰越	34,528	0
2	国内定期便利用率	69.6%	68.9%	↑ 41.1%	↓	70.0%		未達成	現計予算	398,681	349,960
3	国際チャーター便就航便数	35便	44便	↑ 0便	↓	50便		未達成	合計(A)	433,209	349,960
4									うち一般財源	335,284	303,109
									決算額(B)	426,541	341,516
								職員数(人)	14.0	14.0	

成果指標設定理由	<p>①路線拡充による空港利用者数の増加に向けて、空港の利用状況を表す国内定期便と季節運航便及び国内・国際チャーター便の利用者数を目標値に設定</p> <p>②路線の拡充及び定期便の維持を図るため、国内定期便（季節運航便を含む）の利用率を目標値に設定</p> <p>③空港の国際化を推進するため、国際チャーター便の就航便数を目標値に設定</p>
----------	--

達成状況の分析	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少により、国内定期便・季節運航便が減便・運休したほか、チャーター便の減少もあり、目標未達成となった。</p> <p>②県内及び就航先での新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動制限・自粛の影響により目標未達成となった。</p> <p>③海外渡航制限・入国の制限により国際チャーター便の運航が困難な状況が続いたため、目標未達成となった。</p>
---------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定期便の利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・県内、就航先における需要確保のため、旅行会社へのセールスやWeb等での広告宣伝を展開 ・空港内、就航先でのイベントを活用したPR ・利用が落ち込む冬期間の需要確保のため、旅行会社の商品造成に対し助成 ・就航間もない神戸線の認知度向上のため、サイネージ広告・新聞広告を実施 ✓ 国際チャーター便の誘致、国際乗継便の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・航空会社、旅行会社からの情報収集及びツーリズムEXPO沖縄でのエアポートセールスを実施 ・泉州晋江国際空港（中国福建省）関係者による松本空港視察受入れ ✓ 空港管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の保守管理、更新、修繕など空港機能の維持管理 ・航空会社が実施するハイジャック等防止対策事業に対して助成 ・空港機能強化として入国審査用臨時施設的设计業務等を実施 	 <p>ツーリズムEXPO沖縄</p>  <p>空港全景</p>
------	--	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
<p>今後、事業をどのようにしていきたいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ航空需要回復に向けた施策と、更なる利用者確保のため、増便や利便性の高いダイヤの設定に取り組む必要がある。 ・就航して間もない神戸線の運航を定着させるためには、比較的利用の少ない神戸方面からの需要確保が必要である。 ・路線拡充や国際化に向けては、空港の適切な維持管理とともに、施設の機能強化が必要となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内及び就航先での路線PRや利用者・旅行会社への効率的な支援等により、航空需要回復を図った上で、利便性向上のための方策を航空会社に働きかけていく。 ・神戸線の認知度を向上させるため、神戸・関西地域でのPRや旅行会社への支援を強化する。 ・安全確保を優先した空港の維持管理に取り組むとともに、必要な施設の機能強化を進めていく。

事業番号	02 07 01	細事業一覧（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州まつもと空港利活用・国際化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	松本空港利活用・国際化推進室

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	信州まつもと空港活性化事業費	47,701 千円	29,258 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州まつもと空港利用促進協議会負担金	負担金	・県内市町村、関係団体と連携して空港の利用促進を図るための協議会への負担金 【広告宣伝、旅行商品造成に対する助成など空港利用促進事業の実施】
2	空の日事業負担金	負担金	・スカイフェスティバルin松本の開催【9月22日開催、参加者数199名】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	空港管理費	378,840 千円	312,258 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	各種保守管理業務委託	委託	・消防警備委託、灯火保守管理委託、除雪業務委託、緑地管理業務委託等等
2	施設修繕等	直接	・施設修繕、燃料費、光熱水費等 ・地標航空灯台基本設計業務委託等
3	ハイジャック等防止対策事業費補助金	補助金	・航空機の不法奪取等の防止を図るため、航空会社が行う保安検査員の配置等に対して補助 【補助対象者：(株)フジドリームエアラインズ、補助金額：30,755千円】
4	騒音防止工事機能回復事業補助金	補助金	・空港周辺の環境整備のため、騒音防止機能回復工事に対して補助 【補助件数：4件、補助金額：1,358千円】
5	空港機能強化事業	委託	・入国審査用臨時施設設計業務委託 ・空港の官民連携に関する調査 ・RESA拡張に伴う都市計画図作成業務委託
6	松本空港定期便運航特別支援事業	補助金	・国内定期便の運航継続を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者の減少で、厳しい経営環境にある航空会社の運航経費に対して補助 【補助対象者：(株)フジドリームエアラインズ、補助金額：21,160千円】